

## 3 症例評価とプランの立案

### 【アセスメント】

1. 早期に診断が確定できる場合もあるが、実際には患者の問題が複雑ですぐには診断できない場合も多い。そこで患者の有する臨床的問題点（症状、検査所見、身体所見）のなかで、関連のあるものをプロブレムとしてまとめていく
  - (ア) この内容は、毎日診ていく中で磨いていって、数個の臨床的問題点（プロブレム）にまとめ上げればよい
  - (イ) 患者の問題が複雑で多臓器・他系統にわたっており混乱する場合は、問題点を同時に扱うことはしない。混乱するだけである。このような場合は、問題を臓器ごと、系統ごとなどにまとめて、# 1、# 2、# 3……のように別々の問題点としてまとめて考えていく。複雑な問題を一気に解くのは無理である。しかしこのように複数の問題に分けて考えれば、対応は可能である。そしてこれらの問題を最終的に統合して考えることで、患者の問題点の全体像を一気に把握することができる
2. 問題点ごとに、病態の議論を行なう
  - (ア) まず患者のどの臓器・系統に問題が起こっているかを検討する
  - (イ) 次に患者の問題が感染であるか、あるいは非感染性疾患であるかを検討する⇒絞りきれないときは、ともに可能性があるものとして鑑別診断に記載する
  - (ウ) 感染が疑わしい場合には、原因微生物の推測を行なう。これは患者背景と感染臓器が判明すれば、決まってくる。各患者背景・臓器ごとに代表的な原因微生物を知っておく。わからないときは成書・教科書・総説などをみれば知ることができる
  - (エ) 問題点ごとに鑑別診断の「重みづけ」を行う
    - ①参考までに、静岡県立静岡がんセンター感染症内科では、鑑別診断を S/O (suspicious of : 診断の妥当性が高いもの)、R/O (rule out : 診断の妥当性は低い、疾患の予後の重大性や進行の急速性の観点から留意しつつ診療すべきもの) の 2 つに分けて記載している
    - ②特に R/O で挙がる疾患については、除外できるまでは「存在するかもしれない」と留意しつつ、対応漏れのないようにマネジメントする必要がある（感染症の場合にはエンピリック治療を開始するなど）
    - ③印象から、可能性の高い疾患の診断 (rule in) だけを考慮して診療をしている医師を時折見かける。これは危険である。重大な疾患は、必ずしも典型的な臨床像では発症しない。よって「非典型的だから」と重大な疾患を棄却すると診療に不具合を来す（例：「このレントゲン像は結核としては典型的ではない」との理由から結核を鑑別診断からはずして診療したが、結局結核であった。結果として多くの患者・医療従事者が曝露し、集団発生の事例となった）

## 【プラン】

- まず、今後の診断に必要な検査方法などを記載する (diagnostic plan)
- 次に、今後の治療について計画を記載する (therapeutic plan)
  - 抗菌薬治療
  - 手術
  - intervention など
- 患者によっては社会的な問題の解決が必要。これについても計画を立てる (social plan)

## 診療録記載の一例

#1

1か月間持続する37°C台の発熱、  
労作後の倦怠感、両下腿の浮腫、  
低酸素血症、および胸部X線写  
真上両肺野での透過性の低下



ここには患者の病像を形成する主たる問題点を記す。互いに関連があって、一つの病態を説明しうるようにキーワードをまとめるのがコツである。これにより、患者の状態を病態生理学的に把握するうえでの仮説が立てやすくなる

#1-1

特発性血小板減少症で副腎皮質ステロイド内服中



メインプロブレムを考えるうえで重要と思われる情報などをサブプロブレムとして記す。ここでは、鑑別診断を考えるうえで患者背景(副腎皮質ステロイド使用中で細胞性免疫不全あり)を示した

## 【アセスメント】

S/O

肺炎 (ニューモシチス肺炎、  
CMV 肺炎)



S/O では診断として妥当性の高い疾患を挙げる

R/O

間質性肺炎



R/O では診断として可能性はそれほど高くなくても、除外が必要な疾患を挙げる

細胞性免疫不全を伴う患者の亜急性性の肺炎であり、感染としてはニューモシチス肺炎、CMV肺炎をまず疑う。ただし非感染性疾患としての間質性肺炎は除外が必要である



アセスメントに関して具体的な論拠を示す

## 【プラン】

- 至急で気管支鏡検査によるBALF採取
- 検体は一般培養、細胞診、Pneumocystis および CMV-PCR 提出
- ST 合剤によるエンピリック治療の開始



具体的な診療計画を diagnostic plan, therapeutic plan, social plan について提示。箇条書きにわかりやすく